



世界への  
プレゼントになろう

2015-2016年度  
RI会長 K.R. “ラビ”ラビンドラン  
RIテーマ Be a gift to the world

国際ロータリー第2830地区

# 八戸北ロータリークラブ

会報

会長 ● 横 町 芳 隆

幹事 ● 中 山 恵美子

SAA ● 奥 井 義 則

例会日：毎週火曜日 12:30開会

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6 八戸プラザホテル内 TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128 <http://www.8kitarc.com/>

3月 水と衛生月間

vol. 32

第 2218 回例会

2016.3.15

進行：山内一晃会員

- ・RIテーマ
- 点鐘
- ・ロータリーソング
- ・クラブソング
- ・四つのテスト

## ゲストの紹介

マッケンナー・ハーディーさん

私は6カ月日本にいます。皆さんとてもいい人です。食べ物も美味しい。学校はいいですよ。日本はとても楽しいです。ありがとうございます。

## 誕生日祝い

大沼 衛会員

## ご結婚祝い

大沼 衛会員 川崎 益美会員  
木村 幸吉会員

## 会長要件

横町芳隆会長

今日は出席率が良いようでよかったです。昨日はホワイトデーでお返しが大変でした。財布は痛いけど楽しいものですね。

テレビで大震災から5年ということで先週まで震災特集をしていました。見ながら感じたことは、生きているだけでありがたいということです。ある本で読んだのですが、幸せには三つある。してもらう幸せ、出来る幸せ、してあげる幸せ。大切な人のために何かしてあげることが出来るということは幸せなんだと思います。我々はロータリークラブに所属して奉仕の機会に恵まれています。

## 幹事報告

中山恵美子幹事

- ◎ガバナー事務所より会員増強のお願い  
2月29日現在 地区会員数1168名
- ◎RI会長より寄付協力をお願い
- ◎ガバナー事務所よりグローバル補助金プロジェクト表彰について
- ◎2016-17年度カウンセラー・米山奨学生オリエンテーション  
4月9日 青森国際ホテル 会費5,000円
- ◎ソウル国際大会について  
大人数のため朝食会中止
- ◎RYLAセミナー  
6月18, 19日
- ◎ガバナーエレクトよりPETS参加お礼

## 親睦委員会報告

小林弘文会員

### ニコニコBOX

八戸北RC

- 大沼 衛会員：結婚34年になります。
- 川崎益美会員：結婚祝いありがとうございます。
- 木村幸吉会員：結婚祝いありがとうございます。
- 源新和彦会員：早退失礼致します。
- 大入武志会員：早退失礼致します。

米山記念奨学金

- 澤口忠彦会員：
- 奥寺良之会員：
- 大沼 衛会員：58才になりました。よろしくご指導下さい。

ポリオ・プラス

- 澤口忠彦会員：
- 源新育子会員：

## 出席率報告

本日の出席率	81.58%
前々回の修正出席率	81.08%

## 米山奨学生修了証書授与式 平野榮子会員

先週の土曜日3月12日に青森国際ホテルで行われた米山奨学生修了証書授与式に参加して参りました。総勢26名の参加でした。そのうちの4名が米山奨学生で、当クラブに来て下さったショウさんも卒業ということで、それぞれご挨拶なさっていました。

一様に皆さん、「留学出来て米山奨学金を頂くことによって学業に専念できた。非常にロータリーの皆さんに感謝申し上げます。」という言葉頂きました。

私はいつも米山奨学生を参加させて思うことは、皆さん異国に来て向上心があって努力している、自分にはない姿がとても眩しく感じられ、聞いているだけ見ているだけで嬉しくなってきました。ほんの少しでもいいので、そういう人たちが寄付によって学業に専念できれば嬉しいなと思っています。

当クラブは米山記念奨学金の寄付の集まりがあまり良くないので、5月、6月までに少しでも米山に対してご寄付をお願い出来ればと思います。

## ロータリー財団について 源新育子会員



財団は次年度で100周年になります。1917年アーチC.クランプRI会長（6代目）が「世界でよいことをしよう」と提案し、26ドル50セントの寄付でロータリー基金を設立したのが始まりです。財団が大きく動いたのは、創始者ポール・ハリスが亡くなったときに130万ドル以上の寄付が集まり、最初の財団プログラムが実施されたということがあります。これで財団としての基盤が出来たと思います。1957年には寄付した人々への感謝を示す手段としてバッジなどの認証が開始されました。

昔は自己研鑽の場であるという感じで表立って寄付とか活動を言いませんでしたが、最近はロータリーというものを知ってもらうという広報活動が当たり前になってきました。自己研鑽をしながら自分の職業を高めて寄付をして、その寄付によって様々なプログラムに臨んでいくことだと思っています。

2013-14年度からはシステム自体も変わりました。「未来の夢計画」ということで、今までのプログラム、手続きを簡潔にし、世界のニーズに適合した持続可能な大きなプロジェクトを推進しようという動きに変わってきています。また、自分たちの活動、自分たちの財団という意識を高め、利用しやすい身近なものにしていこうというのが現在の財団のあり

方だと思っています。

2年程前から100周年に向けて四つの目標を掲げました。1. 世界で第一級の財団を目指す。もうすでにアメリカのチャリティーナビゲーターという非営利機関の格付けで8年連続最優秀という四つ星を獲得しています。2. 恒久基金10億ドル。昨年度で達成済みです。3. 100周年記念誌発行。発行されていますので欲しい方はお知らせ下さい。4. ロータリーの最重要プログラムの推進。2018年までにポリオ撲滅は、常在国が二つ残っています。あと一歩が非常に難しいようです。

2016-17年度、当地区のスローガン「ロータリーの魅力を語り合おう」、地区運営方針、1. 戦略計画を根付かせる、2. 所属クラブでRI会長賞に挑戦する、3. RI会長地区特別賞に挑戦する、とあります。ロータリー財団としては、RI会長賞で年次基金への寄付を前年度より5%増やす、とか、RI会長賞への挑戦の項目の中に財団が支援する部分もあります。1クラブ536ドル以上寄付、1会員26ドル50セント以上の寄付、など6項目あります。この中から3項目を達成するのが目標になっています。

資料が古いのですが2014年の南分区の財団の寄付状況があります。北クラブは北山ガバナーのときは過去を見ても多いですが、昨年度は少し下りました。数字で見ると年度の動きが見えて面白いものです。

次年度の地区資金推進委員会の目標としては、五つ掲げています。1. 地区のRI会長賞の支援をする。2. 寄付ゼロクラブをなくす。昨年は全国で63クラブありましたが当地区は過去3年間できていません。日本として力を入れています。3. 年次寄付200ドル。これは当クラブは毎年やっていることです。4. ポリオ・プラスに1人50ドルの寄付。5. ロータリー財団100周年、少しでも財団を理解して活性化に結びましょう、ということです。

1917年に財団がスタートしてからこれまで30億ドル以上がプロジェクトに使われています。ロータリーの使命「奉仕」を実現するために、ロータリー財団の寄付を通して「世界平和」を達成できるようにする。ロータリーの使命とロータリー財団の使命は奉仕の理想を実現するための両輪で、どちらが欠けても成り立たないだろうと思います。

寄付というものは強制ではなく自分の意志であるものなので、ロータリーを理解して頂いて、会長も仰ったように人の為になることに喜びを感じながら寄付にもご協力お願い致します。

点鐘